

NetumScan

ワイヤレスBluetooth1Dバーコードスキャナー

CCDイメージスキャナー

Windows XP、Win7/8/10、MACなどに対応しています。

ファームウェア バージョン

以下のコマンドバーコードを読んで、スキャナーのファームウェアバージョンを確認してください。



\$SW#VER

ファームウェア バージョン

工場出荷時の設定

以下のバーコードをスキャンして、スキャナーを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。



%#LFSNO\$B

工場出荷時の設定

バーコード プログラミング

バーコードプログラミング

バーコードスキャナーは、最も一般的な端末および通信設定用に工場プログラムされています。これらの設定を変更する必要がある場合は、このガイドのバーコードをスキャンして変更できます。オプションの横のアスタリスク(*)は、デフォルト設定を示します。

重要: 多くのコマンドバーコードは、特定の接続モードのスキャナーでのみ機能します。各表のヘッダ一行に示されている 2.4Ghz ワイヤレスモード。

重要な注意点:

デフォルトのアイドル時間: デバイスが 1 分以内に接続されない場合、スキャナーは自動的に電源がオフになります。

接続モード:

有線接続

USB HID-KBW

デフォルトでは、スキャナーはキーボードデバイスとして HID モードになっています。プラグアンドプレイベースで動作し、ドライバーを必要としません。



*キーボードとしての USB ケーブル (HID)

USBCOMポートエミュレーション

USB接続を介してスキャナーをホストに接続する場合、USB COMポートエミュレーション機能により、ホストはデータをシリアルポートとして受信できます。



USB 仮想ケーブル COM

注: ワイヤーとワイヤレスの接続方法は自動的に選択され、ワイヤーの方法が優先されます。

RF ワイヤレス接続

*RF ドングル HID-KBW

デフォルトでは、スキャナーはキーボードデバイスとして HID モードになっています。プラグアンドプレイベースで動作し、ドライバーは必要ありません



*キーボードとしてのRFドングル (HID)

仮想 RF ドングル COM

RFドングルがホストに接続されている場合、USB COMポートエミュレーション機能により、ホストはシリアルポートとしてデータを受信できます。



RF 仮想ドングル COM

ブルートゥース経由での作業

スタート:

- ①「ブルートゥース経由での作業」のコマンドバーコードをスキャンします。
- ②ブルートゥースをペアリングします。「ブルートゥースペアリング」ページ 3 を参照してください。
- ③キーボード言語を設定します。US キーボードデフォルトでは、他のタイプのキーボードを使用する場合は、使用する前にキーボード言語を構成してください。

④ データを表示したい場所にカーソルを置くと、スキャンを開始できます。



Bluetoothで動作する

ブルートゥース接続

ベーシックモード (HID) (デフォルト)

スキャナーをヒューマンインターフェイスデバイス (HID) モードに構成します。スキャナーは、他のブルートゥースデバイスのキーボードとして検出可能になります。



*ベーシックモード(HID)

ベーシックモード機能:

- ・ソフトウェアのインストールは必要ありません
- ・ほとんどのデバイスに接続します
- ・スキャナーはキーボードのようなホストデバイスと相互作用します

ベーシックモード (HID) でブルートゥースをペアリングする方法は??

Android: ベーシックモードで Android デバイスを接続します (HID)

1. スキャナーの電源を入れます。LED ライトが点滅します。
2. ホームにタッチ | メニュー | 設定 | ワイヤレスとネットワーク | ブルートゥース設定
3. デバイスのブルートゥースが「オン」になっていることを確認します。
4. 見つかったデバイスのリストで、「Netum ブルートゥース」を選択します。[ペアリング]をタップします。
5. ブルートゥースがペアリングされた後、スキャナーは長いピープ音を 1 回鳴らし、LED ライトが青色に点灯します (点滅なし)。

Apple: Apple iOS デバイスを接続します (HID)

1. スキャナーの電源を入れます。青色の LED ライトが点滅し始めます。
 2. ブルートゥースデバイスの検索を開始します。
- iOS: [設定] | [設定] をタップします 一般 | ブルートゥース。オンにする。ブルートゥースデバイスの検索が開始されます。
3. デバイスリストで、「Netum ブルートゥース」をタップします。[ペアリング]をタップします。
 4. スキャナーが接続されると、ピープ音が 1 回鳴り、LED ライトが青色に点灯し (点滅なし)、スキャンの準備が整います。

Windows: WindowsPCを接続します(HID)

1. スキャナーの電源を入れます。スキャナーが検出可能 (ペアリングされていない) であることを確認してください。
2. コンピューターのブルートゥース設定を使用してスキャナーに接続します。
3. [デバイスとプリンター]を開き、[デバイスの追加]を選択します。
4. デバイスリストで、「Netum ブルートゥース」を選択します。[次へ]をクリックします。

5.残りの画面に従って、ウィザードを完了します。

6.スキャナーが接続されると、ピープ音が1回鳴り、LEDライトが青色に点灯し（点滅なし）、スキャンの準備が整います。

ブルートゥースキーボードのアップロード速度



AT+HIDDLY=4

高速



AT+HIDDLY=10

中速



AT+HIDDLY=25

低速

ブルートゥースのペアリングを解除：

以前のデバイスからブルートゥースを完全にペアリング解除するには、以下の2つの手順を実行します。

- 1.スキャンブルートゥース HID のペアリングを解除し、スキャナーを現在のデバイスから切断し、他のデバイスがペアリングされるのを待ちます。
- 2.以前のデバイスから「Netum ブルートゥース」を削除または無視します。



ブルートゥースのペアリングを解除

BLE モード

Apple デバイスの場合（このモードで動作するにはソフトウェアが必要でした）



AT+MODE=3

BLE モード

SPP モード

Windows または Android の場合（このモードで動作するにはソフトウェアが必要でした）



AT+MODE=1

SPP モード

重要な注意点:

HID から SPP または BLE に移行する場合は、対応するコマンドバーコードをスキャンするだけです。
SPP または BLE から HID モードに移行する場合は、「Netum ブルートゥース」を無視（または削除）してください→ブルートゥースをオフにします→HID のコマンドバーコードをスキャンします→ブルートゥースを開きます→修復します。

IOS キーボードポップアップ/非表示

スキャン中、コマンドバーコードの下をスキャンすることで IOS キーボードを非表示またはポップアップできます。



IOS キーボードポップアップ/非表示

スキャンモード:

*トリガーモード（デフォルト）

このバーコードをスキャンすると、スキャナーは手動トリガーモードに入ることができます。

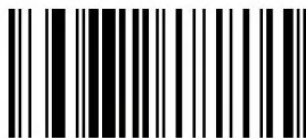


013300

トリガーモード

自動連続モード

このバーコードをスキャンすると、スキャナーは自動検知モードに入ることができます。



013304

自動連続モード

キーボード言語

たとえば、フランス語のキーボードを使用している場合は、コマンドバーコードをスキャンして「フランス語のキーボード」を探します。USキーボードを使用している場合は、この手順を無視してかまいません。



\$LAN#EN

* アメリカン キーボード



\$LAN#JP

日本語キーボード言語



\$LAN#GE

ドイツ語 キーボード



\$LAN#IT

イタリア語 キーボード



\$LAN#PT

ポルトガルキーボード



\$LAN#ES

スペイン語 キーボード



\$LAN#TK

トルコ Q キーボード



\$LAN#TF

トルコ F キーボード



\$LAN#UK

UK キーボード



\$LAN#CS

チェコ キーボード



\$LAN#HU

ハンガリー キーボード



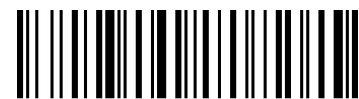
\$LAN#FB

ベルギーFRキーボード



\$LAN#PB

ブラジルPTキーボード



\$LAN#FC

カナダのFRキーボード



クロアチアキーボード



スロバキア語キーボード



デンマークのキーボード



フィンランドのキーボード



ラテンアメリカESキーボード



オランダのキーボード



ノルウェーのキーボード



ポーランドのキーボード



セルビア語キーボード



スロベニアキーボード



スウェーデンのキーボード



スイスDEキーボード



フランス語 キーボード

データアップロードモード

2.4G信号範囲外の作業エリアに行く場合は、以下の手順に従ってスキャナーのストレージモードをアクティブにすることができます。このモードでは、スキャンされたすべてのデータがデバイスのバッファメモリに直接保存されます。さらに、データエントリは、ワークステーションに手動でアップロードされる前にバッファメモリに永続的に保存されるため、作業装置の近くにいるときにアップロードできます。

オフラインモードを終了する

次のバーコードをスキャンすると、デバイスはオフラインモードを終了し、通常モードを再初期化します。



*オフラインモードを終了する

オフラインモード

次のバーコードをスキャンすると、オフラインモードがアクティブになります。



オフラインモード

保存されたデータを出力する

バッファメモリ内のすべてのデータエントリは、ワークステーションを再接続した後、以下のバーコードをスキャンして手動でアップロードできます。



保存されたデータを出力する

出力合計エントリ

以下のバーコードをスキャンすることにより、アップロードされたデータエントリの合計量が集計されます。



出力合計エントリ

メモリをクリア

次のバーコードをスキャンすると、バッファメモリ内のすべてのデータが削除されます。



メモリをクリア

バッテリー容量を取得する

以下のコマンドバーコードをスキャンして、おおよそのバッテリー容量を取得します。



%BAT_VOL#

バッテリーのたまかな量

重要な注意点:

デフォルトのアイドル時間: デバイスが1分以内に接続されない場合、スキャナーは自動的に電源がオフになります。

アイドルタイム

スキャナーは、アイドル状態/非アクティブ状態が1分間続くとスリープ状態になります。このセクションで他の設定を実行する前に、「モジュールのアイドル時間を無効にする」をスキャンしてください。



\$POWER#OFF

電源を切る



\$RF#ST00

スリープモードを無効にする



\$RF#ST01

30S



\$RF#ST06

3Mins



\$RF#ST20

10Mins



\$RF#ST60

30Min

コンバーチブルケース



* コンバータを無効にする



ローケーススワップアップ (A<->a)



すべて大文字 (a->A)



すべて小文字 (A->a)

ブザー

スキャナーを有効/無効にして、スキャンが成功したことを示すビープ音を鳴らします。



\$BUZZ#0
ビープ音をオフ



\$BUZZ#1
*大音量



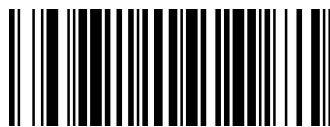
\$BUZZ#2
中音量



\$BUZZ#3
低音量

ターミネーター

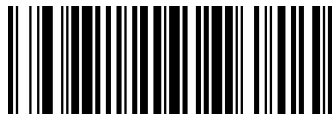
スキャナーは、終了文字のサフィックスを CR または CRLF に設定し、以下の適切なバーコードをスキャンして有効にするためのショートカットを提供します。



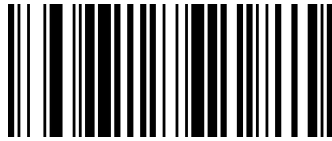
0212@r
CR*



0212@n
LF*



0213@r\n
CR+LF



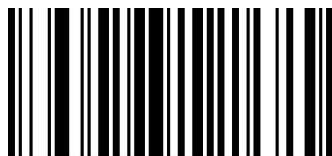
0210@
NONE



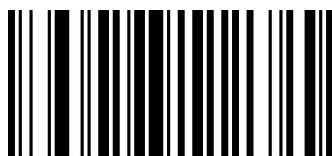
0212@
TAB

送信コード ID 文字

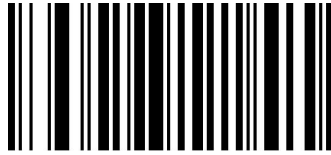
コード ID 文字は、スキャンされたバーコードのコードタイプを識別します。これは、複数のコードタイプをデコードする場合に役立ちます。コード ID 文字は、プレフィックス文字（選択されている場合）とデコード記号の間に挿入されます。（付録 A を参照）



01400
コード ID を無効にする*



01401
有効なコード ID プレフィックス



01402

有効なコード ID サフィックス

共通バーコード機能

EAN-8 有効化/無効化

EAN-8 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00371

有効 EAN-8*



00370

無効 EAN-8



00571

EAN-8 トランジットチェックディジット*

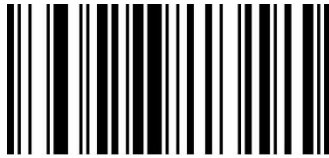


00570

EAN-8 チェックディジットを転送しない

EAN-13 有効化/無効化

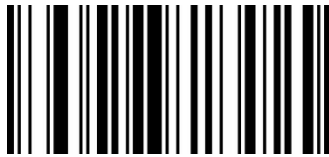
EAN-13 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00361
有効 EAN-13*



00360
無効 EAN-13



00461
EAN-13 トランジットチェックディジット*



00460
EAN-13 チェックディジットを転送しない

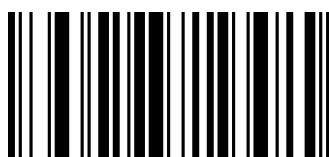
アドオンコード

EAN-8 / EAN-13 バーコードは、2桁数または5桁数の追加コードを追加して、新しいコードを形成できます。以下の例では、青い線で囲まれた部分が EAN-8 バーコードであり、赤い線で囲まれた部分が追加コードです。「コードの追加を無効にする」のデフォルト設定。

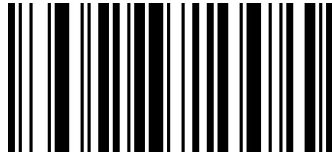


EAN / UPC アドオン 2桁数または5桁数

2桁または5桁の EAN/UPC 加算を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。

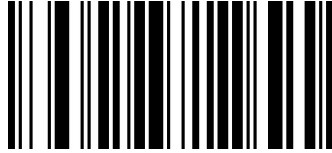


00551
アドオン 2桁を有効にする



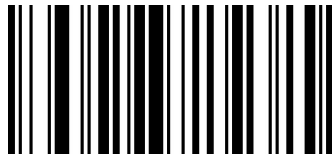
00552

アドオン 5 桁を有効にする



00553

アドオン 2 桁または 5 桁を有効にする

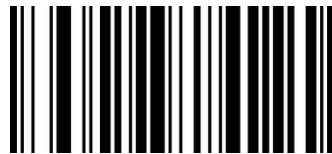


00550

アドオン 2 桁または 5 桁を無効にする

EAN-13 から ISBN への変換を有効/無効にする

EAN-13 から ISBN への変換を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00481

EAN-13 から ISBN への変換を有効にする



00480

EAN-13 から ISBN への変換を無効にする*

EAN-13 を ISSN の有効化/無効化に変換する

EAN-13 から ISSN への変換を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



01501

EAN-13 から ISSN への変換を有効にする



01500

EAN-13 から ISSN への変換を無効にする*

コーダバーを有効/無効にする

コーダバーを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00851

コーダバーを有効にする*



00850

コーダバーを無効にする

コード 11 の有効化/無効化

コード 11 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01261

コード 11 を有効にする*



01260

コード 11 を無効にする

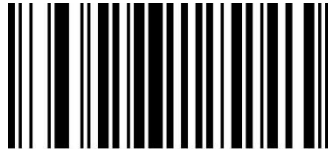
コード 39 の有効化/無効化

コード 39 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00221

コード 39 を有効にする*



00220

コード 39 を無効にする

Code39 から Code32 への変換の有効化/無効化

Code39 から Code32 への変換を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



00260

無効*

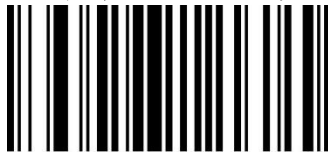


00261

有効

Code39 フル ASCII の有効化/無効化

Code 39 フル ASCII は、Code 39 の変形であり、文字をペアにして完全な ASCII 文字セットをエンコードします。



00231

Full ASCII 有効化*

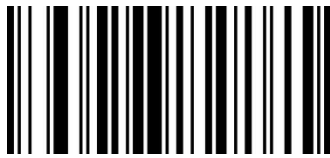


00230

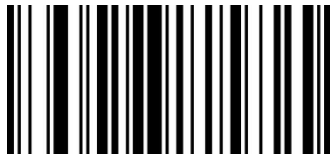
Full ASCII 無効化

Code 93 の有効化/無効化

コード 93 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00621
Code 93 有効化*



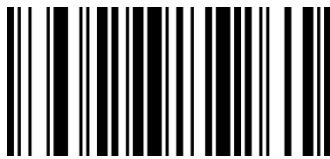
00620
Code 93 無効化

Code 128 の有効化/無効化

コード 128 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



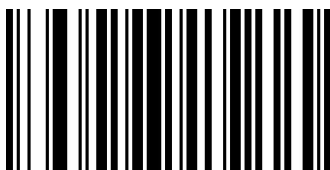
00691
Code 128 有効化*



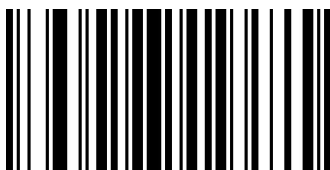
00690
Code 128 無効化

Code 32 の有効化/無効化

コード 32 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



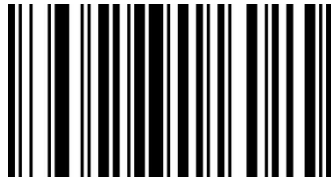
01950
Code 32 有効化*



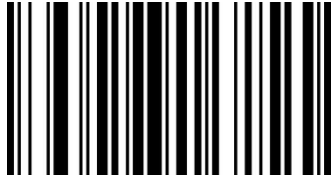
01951
Code 32 無効化

GS1 データバー限定の有効化/無効化 (RSS 限定)

GS1 データバー限定を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



01771
RSS 限定有効化



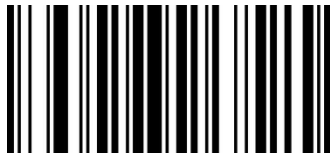
01770
RSS 限定無効化

GS1 データバー全方向性(RSS 全方向性)

GS1 データバー全方向性を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



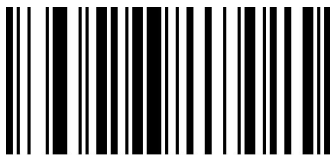
01761
RSS 全方向性有効にする



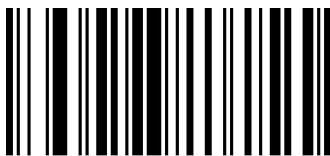
01760
RSS 全方向性無効にする

UPC-A の有効化/無効化

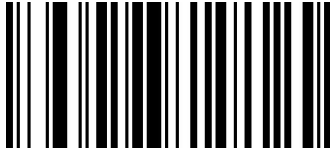
UPC-A を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00341
UPC-A 有効化*

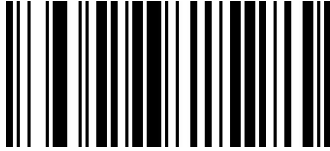


00340
UPC-A 無効化



00241

トランジットチェックディジットを有効にする*



00240

トランジットチェックディジットを無効にする

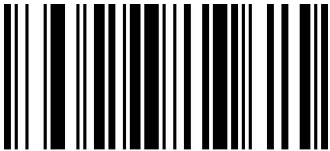
UPC-A から EAN-13 への変換の有効化/無効化

UPC-A から EAN-13 への変換を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00391

UPC-A から EAN-13 を有効にする

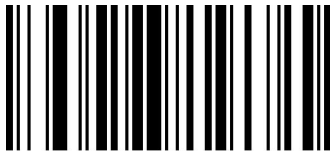


00390

UPC-A から EAN-13 を無効にする

UPC-E の有効化/無効化

UPC-E を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00351

UPC-E 有効化



00350

UPC-E 無効化

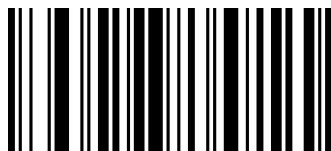
UPC-E から UPC-A への変換を有効/無効にする

UPC-E から UPC-A への変換を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00381

UPC-E から UPC-A への変換を有効にする

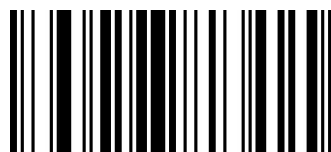


00380

UPC-E から UPC-A への変換を無効にする

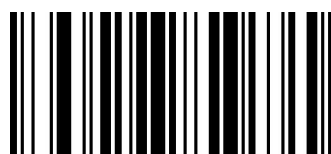
インターリーブ 2 または 5 を有効/無効にする

インターリーブ 2 または 5 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



00961

インターリーブ 2 または 5 を有効にする

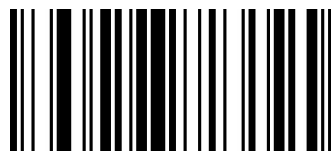


00960

インターリーブ 2 または 5 を無効にする

インダストリアル 2 または 5 を有効/無効にする

インダストリアル 2 または 5 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01061

インダストリアル 2 または 5 を有効にする

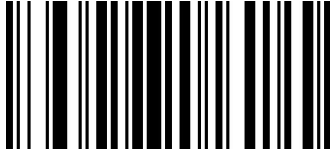


01060

インダストリアル 2 または 5 無効にする

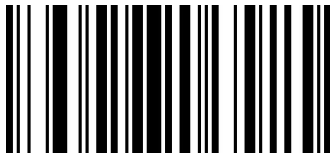
標準 2 または 5 を有効/無効にする

標準の 2 または 5 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01871

標準の 2 または 5 を有効にする

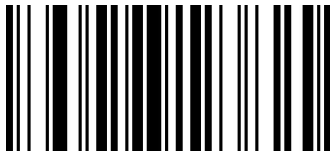


01870

標準の 2 または 5 を無効にする

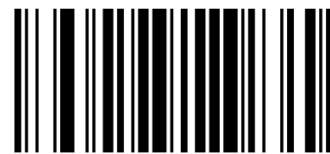
マトリックス 2 または 5 を有効/無効にする

マトリックス 2 または 5 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01461

マトリックス 2 または 5 を有効にする

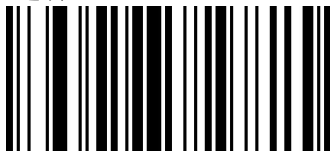


01460

マトリックス 2 または 5 を無効にする

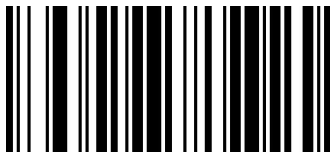
MSI の有効化/無効化

MSI を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01151

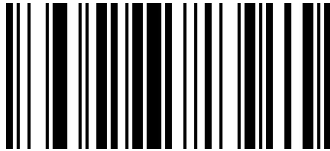
MSI 有効化



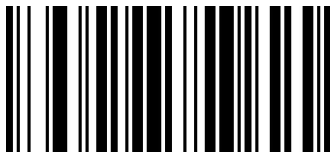
01150
MSI 無効化

プレッシャーを有効/無効にする

プレッシャーを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



01161
プレッシャーを有効にする



01160
プレッシャーを無効にする

プレフィックスまたはサフィックスの数字を非表示にする

バーコード文字の開始/中間/終了を非表示にすることができます。以下の非表示設定バーコードをスキャンした後、非表示にする文字の長さの2桁の16進数をスキャンします（非表示の長さ4、スキャン0、4などの00~FF）。



\$SCAN#5

バーコードの開始文字を隠す



\$SCAN#6

バーコード中段文字開始を隠す



\$SCAN#7

バーコード開始文字を非表示



\$SCAN#8

バーコード終了文字を非表示

出力フォーマット

スキャンデータ送信フォーマットを変更するには、目的のフォーマットに対応する8つのバーコードの1つをスキャンします。



\$DATA#5

バーコードの非表示
開始文字を有効にする



\$DATA#4

バーコードミドル
文字を非表示を有効にする



\$DATA#3

バーコード終了文字の
非表示を有効にする

バーコードの開始/中間/終了文字を非表示にする:

手順

1. バーコードの非表示の開始/中間の開始/中間の長さ/終了文字の記号をスキャンします。
2. 入力する長さの16進値を決定します（4文字を非表示、0,4をスキャン、12文字を非表示、0、Cをスキャン）。
3. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします
4. 4.出力フォーマットをスキャンして、文字の非表示機能を有効またはキャンセルします。

カスタムプレフィックスとサフィックス

データ編集で使用するためにデータをスキャンするために、**最大20個**のプレフィックスと20個のサフィックスを追加できます。これらの値を設定するには、ASCII値に対応する2桁の16進数（つまり、2つのバーコード）をスキャンします。付録の表1および数値バーコードを参照してください。

プレフィックスまたはサフィックスを追加:

1. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンします。
2. ASCIIチャートからプレフィックスまたはサフィックスの16進値を確認します。
3. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします

4. 追加するすべてのプレフィックスまたはサフィックスに対して手順2と3を繰り返します。
5. 出力フォーマットをスキャンして、プレフィックス/サフィックス出力を有効または無効にします。



\$SCAN#2

プレフィックスを追加



\$SCAN#1

サフィックスを追加



\$SCAN#4

プレフィックスをすべて消去



\$SCAN#3

すべてのサフィックスをクリア

数値バーコード



\$NO#0



\$NO#1



\$NO#2



\$NO#3



\$NO#4



\$NO#5



\$NO#6



\$NO#7



\$NO#8



\$NO#9



\$NO#A



\$NO#B



\$NO#C



\$NO#D



\$NO#E



出力フォーマット

スキャンデータ転送フォーマットを変更するには、目的のフォーマットに対応する8つのバーコードの1つをスキャンします。



*デフォルトの出力形式



サフィックス出力を有効にする



プレフィックス出力を有効にする

バーコード「123456789」に通常の接頭辞または接尾辞を追加する方法の例



プレフィックスとして「A」と「B」を追加し、サフィックスとして「!」を追加する

1. 「プレフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンします



2. ASCIIチャートからプレフィックス16進値を確認します。A-"4"、"1"; B-"4" "2";
3. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします





4. 出力フォーマットをスキャンして、プレフィックス出力を有効にします。



プレフィックス出力を有効にする

5. 「サフィックスの追加」コマンドバーコードをスキャンして、サフィックスとして「！」を追加します。



サフィックスを追加

6. ASCIIチャートからサフィックスの16進値を確認してください。！ -"2" "1"
7. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします。



8. 出力フォーマットをスキャンして、サフィックス出力を有効にします。



サフィックス出力を有効にする

9. バーコードをスキャンすると、**AB123456789**が表示されます。

バーコード「123456789」のコンビネーションキーサフィックスを追加する方法の例



123456789

「123456789」に「Ctrl+P」を接尾辞として追加

1. 「サフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンして、「Ctrl+P」をサフィックスとして追加します。



\$SCAN#1

サフィックスを追加する

2. ASCIIチャートからサフィックスの16進値を確認してください。 **Ctrl + P-"9" "7" "5" "0"**

3. 数値バーコードから4桁の16進値をスキャンします。



\$NO#9



\$NO#7



\$NO#5



\$NO#0

4. 出力フォーマットをスキャンして、サフィックス出力を有効にします。



\$DATA#1

サフィックス出力を有効にする

5. 「キーボードCtrlコンビネーションキー」をスキャン

6. バーコード123456789をスキャンします。（Excelでテストします）

表 1.ASCII 文字に相当するもの

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(38H	8	48H	H	58H	X
29H)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	*Shirt
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	*Left Alt
6AH	J	7AH	z	8AH	F11	9AH	*Right Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	08H	BS
6CH	l	7CH		8CH	Insert	09H	HT
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	0AH	LF
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up	0DH	CR
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete	1BH	ESC

表 2.コード ID

No	Code ID	Code (Barcode Type)	Barcode Type
1	@	00	ALL TYPES
2	A	01	CODE 128
3	C	03	EAN 8
4	D	04	EAN 13
5	E	05	UPC-A
6	F	06	UPC-E
7	I	09	CODE 93
8	J	0A	GS1 Omnidirectional
9	K	0B	GS1 Limited
10	M	0D	CODE 39
11	N	0E	Interleaved 2 of 5
12	O	0F	Industrial 2 of 5
13	P	10	Standard 2 of 5
14	Q	11	Matrix 2 of 5
15	S	13	MSI
16	T	14	Plessey
17	U	15	CODE 11
18	V	16	Codebar

サポート

当社製品に関するお問い合わせは、service@netumscan.com までメールでご連絡ください。できるだけ早く対応させていただきます。

連絡先

電話:+0086 20-6626-0708

Email:service@netumscan.com

Whatsapp: +86 15800221432

アドレス:Jingzheng Science and Technology Park, No. 51, Xiangshan Avenue, Zengcheng District, Guangzhou,China/511340

Made in China